2014年10月版

Kabuto

ASAGI

ASAGI系 取扱説明書

アサギ

保存用

ご使用になる前に

この取扱説明書は必ずヘルメットご使用前にお読みください。またお読みの後は、保管してくださいますようお願いいたします。

メットインスペースへの収納について

当製品は、車種により「メットインスペース」への収納ができない場合があります。
あしからずご了承ください。

ASAGI

ASAGI系 取扱説明書

（アサギ）

保存用

ASAGI

取扱説明書･インデックス

ASAGI 取扱説明書･インデックス……P-2
おもな部位の名称……P-3

安全・快適にご使用いただくために

ご使用になる前に……P-4
PSC･SGマークについて……P-5

あごひもについて

1 あごひもカバーの脱着方法……P-6
2 あごひもの取扱方法……P-7

ベンチレーションの空調機能

3 「ベンチレーションシステム」と「ウェイクスタビライザーPAT.**」**……P-8
4 ベンチレーション･シャッター機能の操作方法……P-9

シールドについて

5 「シングルアクションシールドシステムPAT.**」の使用方法**……P-10
6 シールドラチェットの脱着方法……P-12
7 別売･オプション PINLOCK® Original Insert Lens ……P-14
「Pinlock® Original Insert Lens」を取り付ける……P-14
（ピンロック® オリジナル･インサート･レンズ）
8 インナーサンシェードの開閉方法……P-17
9 インナーサンシェードの脱着方法……P-18

内装（インナーパッド・チークパッド）について

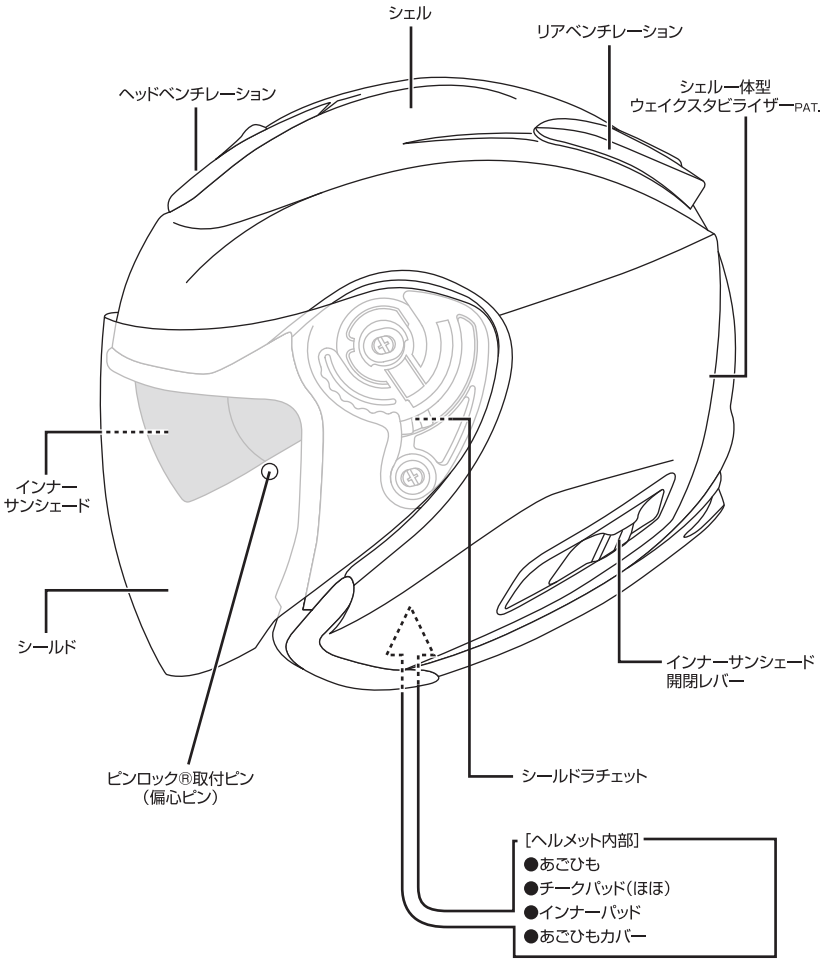
10 チークパッド（ほほ）の脱着方法……P-20
11 インナーパッドの脱着方法……P-21
参考 **インナーパッド、チークパッドの互換性について**……P-22
重要 **内装パッド**（インナー･チーク･あごひもカバー）**のお洗濯についてのご注意**……P-22
参考 **当製品で採用されている機能素材について**……P-23

補修パーツリスト・修理・お問い合わせ

● **ASAGIシリーズ 補修パーツリストと修理対応表**……P-24
商品に関するお問い合わせと修理のご依頼方法……P-25

ASAGI

おもな部位の名称



ご使用になる前に

このたび、当製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。
この取扱説明書はお買い上げいただいたヘルメットの正しい取扱い方法や各機能、脱着などについて説明しております。ご使用になる前に必ず最後までお読みください。
またお読みの後は、大切に保管してくださいますようお願いいたします。
ヘルメットは、いかなる事故にも、絶対という訳ではなく、万一の際に危険の度合いを減らす装備の一つで、安全の一要素にすぎないということをよくご理解のうえご使用ください。
安全快適なモーターサイクルライフを楽しむためにも、本書に記載の注意事項をよくご理解いただきますようお願いいたします。

⚠ 頭に合ったサイズのヘルメットを、お選びください。

大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。また小さすぎるヘルメットは、頭を締めつけ痛くなる可能性もあるので、頭によく合ったヘルメットをお選びください。

⚠ あごひもは必ずしっかり締めてください。

あごひもを締めなかったり、締め方がゆるいと、万一転倒した時などに脱げてしまい、
頭を守る事ができず非常に危険です。

⚠ 大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上に損傷がなくても、ご使用にならないでください。

ヘルメットはシェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで、衝撃エネルギーを吸収します。
大きな衝撃を受けたヘルメットは、既にライナーが潰れている場合が多く、そのまま使用すると、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。外観にキズ等がなくても、使用しないでください。

⚠ ヘルメットの改造は絶対にしないでください。

ヘルメットに穴を開けたり、内部の衝撃吸収材を削ったり、あごひもなどは絶対に改造したりしないでください。
ヘルメット本来の性能が発揮できなくなり非常に危険です。また部品を取り外したまま使用しないでください。

⚠ ヘルメットのお手入れは薄めた中性洗剤でふき取るようにしてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、熱湯（50℃以上）や、塩水等は絶対に使用しないでください。
ヘルメットの材質が侵され、ヘルメットの性能が低下するおそれがあります。

⚠ ヘルメットを塗りかえる時のご注意

シェル及び衝撃吸収ライナーは、塗料や熱の影響により材質が侵され、衝撃吸収力が低下する場合があります。また、乾燥に50℃以上の熱を必要とする塗料は使用できません。
ヘルメットを塗りかえる必要のある場合は専門の業者にご依頼ください。

⚠ ヘルメットは大切に取扱ってください。

ヘルメットは丈夫だからといって、床等に放り投げたり、上に座ったりしないでください。
その度に衝撃を吸収するため、衝撃吸収力が低下します。万が一の為に大切に取扱ってください。
また、乗車時での頭を保護する以外の目的には使用しないでください。

⚠ ヘルメットの保管について

ヘルメットは直射日光の当たる車の中や、暖房機のそばなど、高温（５０℃以上）の場所に
長時間放置しないでください。（ヘルメットに使われている材質が侵され、性能が低下します。）
また、落下しやすい、オートバイの上や高所などでの保管はしないでください。

⚠ シールドのお手入れについて

シールドの汚れを取るときには、柔らかい布を使い、薄めた中性洗剤で汚れをふき取り、
最後に清水ですすいだ布で拭きあげてください。
ガソリン、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

⚠ フルフェイスヘルメット使用上のご注意

フルフェイスをご使用の場合、走行中のヘルメット内はほぼ一定の温度ですが、高速度で移動しているため周辺の環境は常に変化しています。そのため、突然の雨やトンネルに入った直後、峠道など高低差がある場合は、ヘルメット内の温度と周辺との気温差が生じるため、シールドが急激に曇ってしまう場合があります。この様な状況が予想される時は、あらかじめシールド開度の調整や適切なスピードにするなど注意をするようお願いします。なお、シールドの開閉操作及びベンチレーションシャッター操作は、必ず停止した状態で行ってください。走行中の操作は危険です。

⚠ 乗車用ヘルメットの有効期間は、「購入後3年間」です。

ヘルメットは様々な状況下において使用されるために、見た目以上に劣化が進んでいることがあります。このため、ＳＧマークにはヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後３年間」と有効期限を定めて、ヘルメットに表示しております。有効期限を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮できない場合が多く、正常に使って異常が認められなくても、ご購入後３年以内に交換してください。

PSC・SGマークについて

「PSCマーク」

「P:Product（製品）」、「S:Safety（安全）」、「C:Consumer」の頭文字を略号としてマークで表しています。これは消費生活用製品安全法に基づき製造された製品に表示されるマークで、消費者に対して生命の危険や身体に特に危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品を国が「特定製品」として指定していることを意味します。日本国内で販売されるヘルメットは、このマークが表示されていなければ、販売することはできません。

「SGマーク」

SGマークは、製品安全協会が定めたSG基準に適合している製品に表示されるマークです。
またSGマークは、万一ヘルメットに欠陥があり、製品安全協会の定めるSG基準に適合していないために着用者が損害を被った場合に、その損害を賠償するものです。なおこの制度はプロオートバイレースやサーカスなどの特殊な用途に用いている際の負傷や、SG基準が定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷などは賠償の対象になりません。

（ＳＧマークに関するお問い合わせ先）製品安全協会 ☎（03）5808-3300（代）
〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ 三ノ輪 2F

1 あごひもカバーの脱着方法

このヘルメットは、汚れた時などにあごひもカバーを取り外して洗うことが可能です。

●取り外しかた

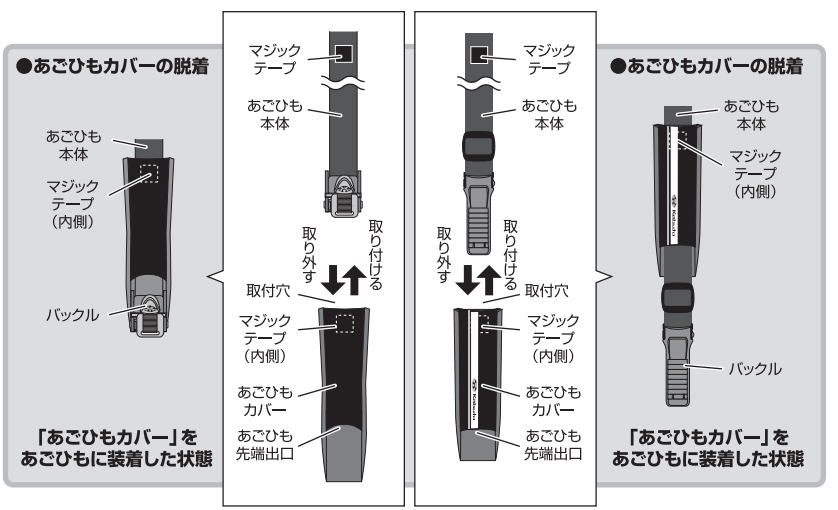
①あごひもの根元にあるマジックテープより「あごひもカバー」のマジックテープを取り外します。

②「あごひもカバー」をあごひも本体より引き抜き、取り外したら完了です。

●取り付けかた

①取り外した逆の手順（あごひもカバーの表裏に注意）で、あごひもカバーの上方より、あごひもを通し、あごひもカバーの穴よりあごひもの先端を出します。

②最後にあごひもに付いているマジックテープへしっかりあごひもカバーを押し付けてとめれば完了です。



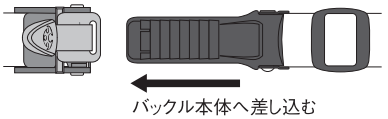
ご注意

●あごひもカバーを取り付ける際は、あごひもカバーの表（レザー部分）・裏（あごに当る生地部分）の方向にご注意ください。

2 あごひもの取扱方法

当製品は、あごひもの脱着が簡単にできる「マイクロラチェットバックル」を採用しております。

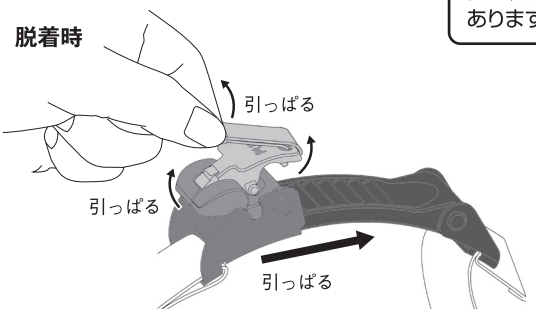
装着時



⚠警 告

バックルを装着しないで走行したり装着が不完全ですと、万一転倒した際にヘルメットが脱げてしまうおそれがあります。

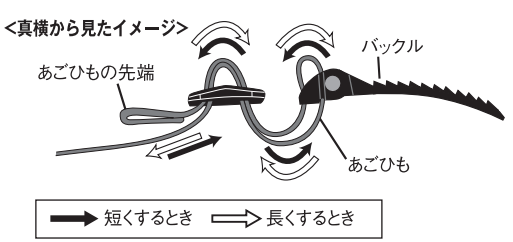
脱着時

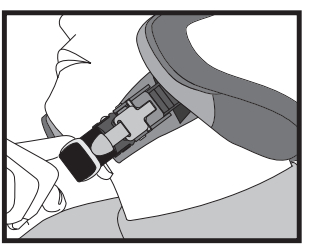


●あごひもの長さ調整

<適正なあごひもの長さ>

ヘルメットをかぶり、バックルをしっかり締めます。その際、のど元付近のあごひもと、のどの間に、人指し指一本入る程度が適正なあごひもの長さと言えます。このときに、あごひもの長さが合っていない場合は、あごひもの長さ調整を行ってください。

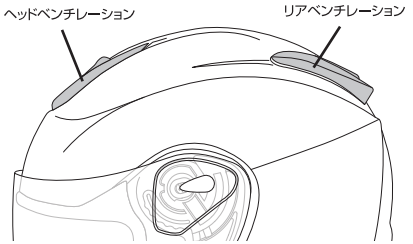




⚠警 告

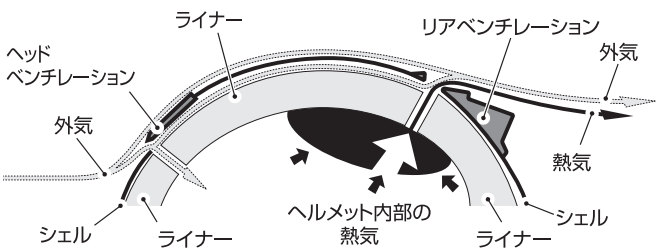
バックルをしっかり締めても、あごひもの長さが適正でないと、万一転倒した際にヘルメットが脱げたり、首元が必要以上に締まったりするおそれがあります。
あごひもはヘルメットの重要な部分ですので、乗車前には必ず慎重かつ正確に調整しましょう。

3「ベンチレーションシステム」と「ウェイクスタビライザーPAT.」



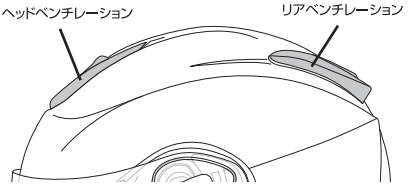
【ベンチレーションシステム】
オートバイ走行時における前方からの風圧を利用して効率よく外気を導入し、ヘルメット内部の熱気を排出させるシステム。またこのベンチレーションには、風の導入を任意で操作する「シャッター機能」が装備されており、寒い冬や雨天時などの冷気や水滴の侵入をシャットアウトします。

<ベンチレーションの構造>



【ウェイクスタビライザーPAT.】
ウェイクスタビライザーは、様々な角度から行われた風洞実験の分析結果から生み出された、Kabutoの特許システム。
走行中に発生する帽体付近の空気の流れをコントロールし、負荷を軽減します。

4 ベンチレーション・シャッター機能の操作方法



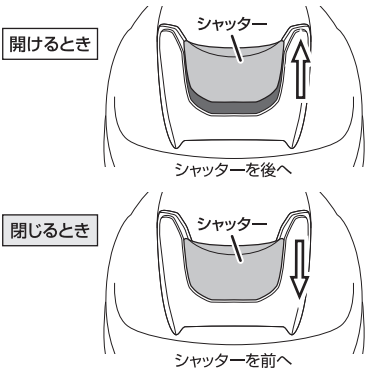
[ヘッドベンチレーションの開閉操作]

開けるとき

シャッターを後ろにスライドさせると、
エアダクトが開き、外気が導入されます。

閉じるとき

シャッターを前にスライドさせると、
エアダクトが閉まり、外気導入が遮断されます。



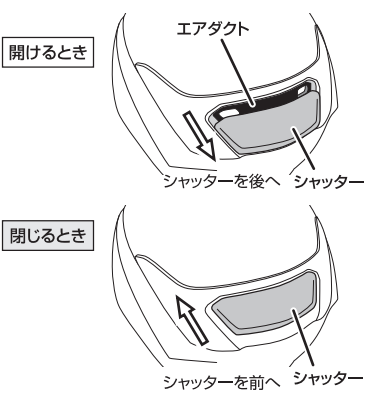
[リアベンチレーションの開閉操作]

開けるとき

リアベンチレーションのシャッターを後ろへ
スライドさせると、エアダクトが開き、
ヘルメット内部の熱気を強制排出します。

閉じるとき

リアベンチレーションのシャッターを前へ
スライドさせると、エアダクトが閉じて、
熱気の強制排出を停止します。



ご 注 意

各ベンチレーションは、強い力を与えると部品が破損する場合がありますので、
取扱いにはご注意ください。

※次ページの、**「警告」**、**「ベンチレーションが破損した場合」**についても必ずよくお読みください。

⚠警 告

●走行中のシャッター操作は危険ですので絶対におやめください。
シャッター操作をするときは、走行前あるいはオートバイを安全な場所に必ず停車させてから操作してください。

●ヘッドベンチレーションおよびリアベンチレーションのエアダクト（エア吸排出穴）は、転倒や事故の際の大きな衝撃を考慮し、最良の大きさ・数で設計しております。むやみに穴を広げたり穴の数を増やしたりすると、ヘルメットの性能を低下させる原因となり、大変危険ですので絶対におやめください。

ⓘベンチレーションが破損した場合

各ベンチレーションが破損した場合は、オプション販売またはメーカー修理となります。（24〜25ページ参照）なお修理受付の際、ヘルメットの安全性能が保持出来ないと判断した場合は、修理が出来ない事があります。

5「シングルアクションシールドシステムPAT.」の使用方法

「シングルアクションシールドシステムPAT.」は、Kabutoが開発したシールド交換システムで、走行時のコンディションに合わせて、素早いシールド交換を可能にしたほか、メンテナンスも容易に行う事ができます。

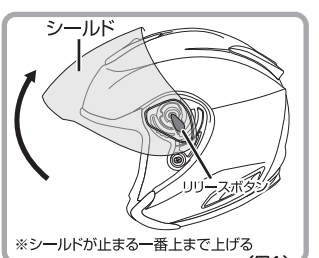
ーシールドの取り外しかたー

①シールドを（図1）のように一番上まで上げた状態にします。（止まる位置まで上げてください）

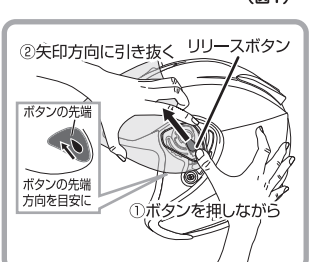
②（図2）のように、シールドにあるリリースボタンを押したまま、矢印方向へ引き抜くと、シールド片側が完全に取り外せます。

※リリースボタン先端の角度を目安に引き抜くと、スムーズに取り外せます。

③この作業をもう片側も行うと、シールドが完全に取り外せます。



（図1）



（図2）

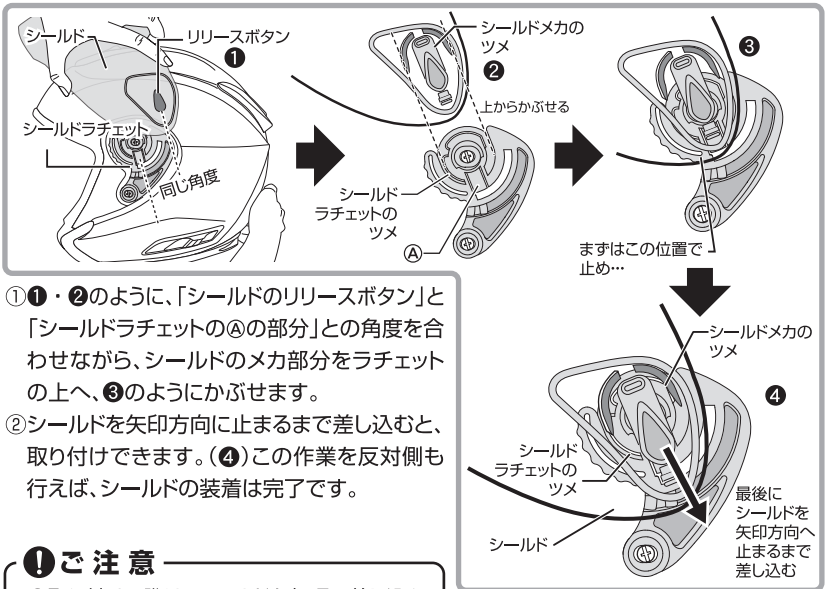
❗ご 注 意

●構造上、シールドを一番上まで上げないと、シールドを外せません。

●取り外す際は、シールドを無理に引き抜いたり、ねじったりしないでください。シールドやラチェット機構が破損するおそれがあります。

●取り外したシールドは、キズが付かないよう、お取り扱いには十分ご注意ください。

ーシールドの取り付けかたー



①❶・❷のように、「シールドのリリースボタン」と「シールドラチェットのⒶの部分」との角度を合わせながら、シールドのメカ部分をラチェットの上へ、❸のようにかぶせます。

②シールドを矢印方向に止まるまで差し込むと、取り付けできます。(❹)この作業を反対側も行えば、シールドの装着は完了です。

ご注意

- 取り付ける際は、シールドを無理に差し込んだり、ねじったりしないでください。
  シールドやラチェット機構が破損するおそれがあります。
- 取り付けたあと、必ず一度シールドを抜く方向に軽く引っ張り、抜けない事を確認してください。
- シールドの取り付けが完了したら、シールドを3〜4回開閉し、正確に開閉動作が出来るか確認を行ってください。その際に異音がしたり開閉動作がうまく出来ない場合は、当項目を再度よくご覧のうえ、最初から取り付け直してください。

警告

- シールド取り付け後は、シールドが確実に取り付けられているか、また、開閉動作が正しく出来ているかの確認をしっかり行ってから走行してください。開閉動作が不完全な場合や、取り付けが不完全ですと、万一、走行中にシールドがうまく作動しなかったり、脱落する可能性があり、大変危険です。
  なお、開閉動作時に異音がしたり、開閉動作がうまく出来ない場合は、当項目を再度よくご覧になり、最初から取り付け直してください。
- シールドは消耗品です。虫や飛び石などでシールド表面がキズ付くと、視界を妨げる原因となり、大変危険です。キズや汚れが著しい場合は、そのまま使用を続けずに、早めに新しいシールドに交換してください。

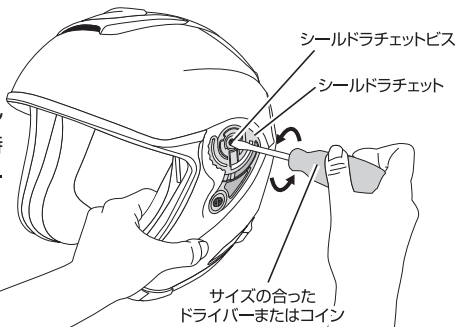
6 シールドラチェットの脱着方法

「シールドラチェット」とは、シールドの開閉や「**シングルアクションシールドシステムPAT.**」の機能をコントロールする部分です。

「**5シングルアクションシールドシステムPAT.の使用方法**」でシールドを完全に取り外すと、シールドラチェットが現れます。

ーシールドラチェットの取り外しかたー

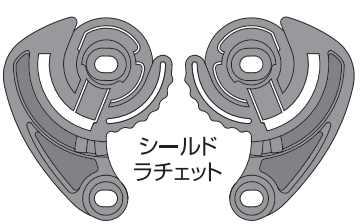
シールドラチェットを取り付けている、シールドラチェットビスをサイズの適したドライバーまたはコインで、左（反時計方向）に回すと、ビスが取り外せ、シールドラチェットも完全に取り外せます。この作業を反対側も行います。



ご注意

- シールドラチェットビスを取り外す際は、ビスに対して正しくサイズが合ったドライバーまたはコインを選び、ビスに対して垂直になるように回してください。サイズが合っていなかったり斜めに回したりすると、ビスのネジ山が潰れてしまうおそれがあります。
- 取り外したビスは、紛失しないようご注意ください。
- ビスには「緩みどめコーティング」が施されております。ビスの脱着によりコーティングが剥がれてきたらそのまま使用を続けずに、新しいビスに交換をおすすめします。

ーシールドラチェットの取り付けかたー



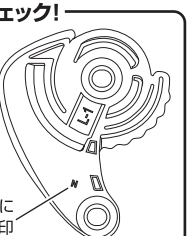
※R、Lの刻印は裏側にあります

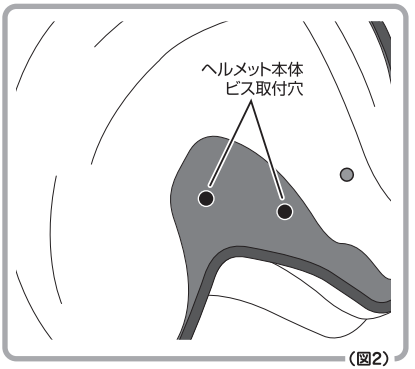
（図1）

①まずは、（図1）のように、
シールドラチェットの方向を確認します。

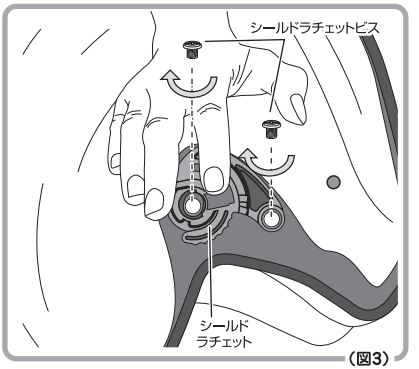
作業前に必ずチェック!

ASAGIシリーズには、必ずシールドラチェットの裏面に「N」の刻印が入ったものをご使用ください。





（図2）



（図3）

②ヘルメット本体・横のくぼみにシールドラチェットを乗せ、シールドラチェットの取付穴とヘルメット本体の取付穴を合わせます。（図2）

③シールドラチェットビスを2箇所とも、右（時計回り）方向にしっかり締めます。この作業を両側とも行うと取り付け完了です。（図3）

ご注意

- シールドラチェットビスを締める際は、必要以上に締め付けないでください。ビスやその他部品が破損するおそれがあります。
- シールドラチェットビスを締める際は、ビスに対してドライバーまたはコインを垂直にして回すようにしてください。ビスのネジ山が潰れてしまうおそれがあります。

警告

- シールドラチェットは、シールドの開閉動作に重要なパーツです。取り付けは確実に行い、取り付けが終わったら、シールドが正しく完全に下まで閉まるか、また開閉動作は正しく行えるかなどの確認を必ず行ってください。
- シールドラチェットビスは、定期的に緩みをチェックし、増し締めを行ってください。緩んだまま走行すると、走行中にシールドが脱落するおそれがあり、大変危険です。
- ビスには「緩みどめコーティング」が施されております。ビスの脱着によりコーティングが剥がれてきたらそのまま使用を続けずに、新しいビスに交換をおすすめします。

7 別売・オプション

PINLOCK® Original Insert Lens

当製品には、優れた曇りどめ効果を発揮する「Pinlock®Original Insert Lens（別売）」を取り付けることができる「ピンロックピン（偏心ピン）」をシールドに標準装備しています。「Pinlock®Original Insert Lens」は、当製品をお買い上げになった販売店にて別途お買い求めください。

Pinlock® Original Insert Lens （ピンロック®オリジナル・インサート・レンズ）	SAJ-P用	1枚入り: ¥3,000（+消費税）

[Pinlock® Original Insert Lensについて]

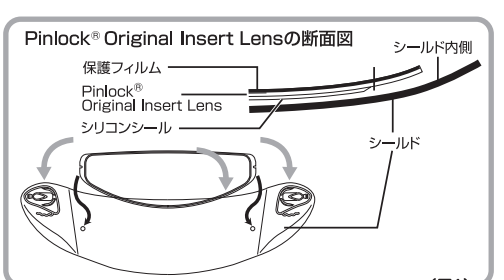
Pinlock® Original Insert Lensは、冬期や雨天時などのヘルメット内部の温度変化によるシールドの曇りを抑える曇り止めシートです。
シールドとPinlock® Original Insert Lensの間に適度なすき間を設けることにより、外気温とヘルメット内部の温度差を平衡に保ち、曇りを抑えクリアな視界をキープします。

Pinlock®Original Insert Lensは、Pinlock® fog-free system社の登録商標です。

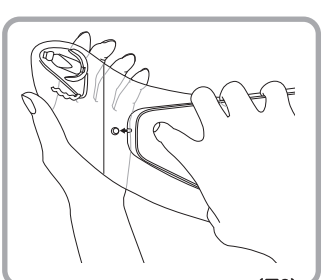
Pinlock® Original Insert Lensを取り付ける

ーPinlock® Original Insert Lensの取り付けかたー

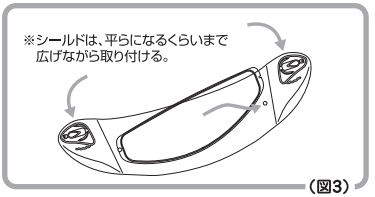
①Pinlock® Original Insert Lensの保護フィルムを剥がさずに、シリコンシールがある面をシールド内側に密着するように取り付けます。このとき、Pinlock® Original Insert Lensの取り付け部を片側よりシールド内側にある偏心ピンへ差し込みます。（図1、図2）



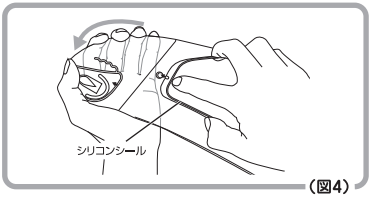
（図1）


（図2）

（②につづく）



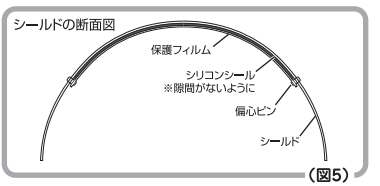
（図3）



（図4）

②片側の偏心ピンにPinlock® Original Insert Lensを差し込んだまま、シールドを平らになるくらいまで広げ、反対側の取り付け部も差し込み、シールドをゆっくり元に戻します。（図3、図4）

③シールドをヘルメットに取り付けて、Pinlock® Original Insert Lensのシリコンシールが全てに渡ってシールドに密着しているかを確認します。このとき、隙間が見られる場合は、「Pinlock® Original Insert Lens･取り付け後の調整」を参照のうえ、調整してください。



（図5）

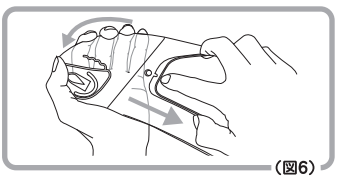
※ Pinlock® Original Insert Lensの密着度確認は、必ずヘルメットにシールドを装着した状態で行ってください。ヘルメットに装着していない状態では、Pinlock® Original Insert Lensの応力により、シールドが装着時よりも広がっている場合がありますので、ご注意ください。

④最後にPinlock® Original Insert Lensの保護フィルムを剥がして取り付けが完了です。

ーPinlock® Original Insert Lensの取り外しかたー

①シールドをヘルメットより取り外します。

②Pinlock® Original Insert Lensを取り付けたときの要領で、シールドを平らになるまで広げながら、偏心ピンからPinlock® Original Insert Lensを取り外します。（図6）


（図6）

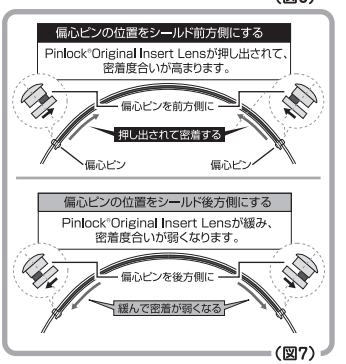
ーPinlock® Original Insert Lens･取り付け後の調整ー

Pinlock® Original Insert Lensとシールドに隙間が見られる場合は、調整を行ってください。

①ヘルメットからシールドを取り外し、Pinlock® Original Insert Lensを取り外します。

②偏心ピンを工具などを用いて（図7）のように、回して調整します。

③再度Pinlock® Original Insert Lensをシールドに取り付け、ヘルメットに取り付けてから密着度合いを再確認します。調整が必要な場合は、再度上記の作業を行います。



（図7）

ご注意

●Pinlock® Original Insert Lensを取り付ける際は、シールドを十分平らにしてから取り付けてください。平らにしないまま装着しようとすると、偏心ピンを破損することがあります。

●Pinlock® Original Insert Lensを取り付ける際は、シールド内側の汚れをきれいに取り除き、Pinlock® Original Insert Lensのシリコンシール側の曇り止め部分には手を触れないよう十分に注意しながら取り付けてください。

●お手入れの際は、ベンジン・シンナー・ガソリン・ガラスクリーナー、その他の溶剤は絶対に使用しないでください。Pinlock® Original Insert Lensの材質を冒すおそれがあります。

●乾燥の際、50℃以上になる場所や暖房機のそばなどに置いたり、ドライヤーや直火の使用などは絶対におやめください。熱によりPinlock® Original Insert Lensの材質を冒すおそれがあります。

Pinlock® Original Insert Lens・取り扱い上のご注意

●Pinlock® Original Insert Lensは、Pinlock® Original Insert Lensに対応した専用シールドのみご使用になれますが、それ以外のシールドにはご使用いただけません。

●シールドとPinlock® Original Insert Lensの間が曇ったり、雨水が浸入する場合は、Pinlock® Original Insert Lensを取り外し、シールドとPinlock® Original Insert Lensの双方を十分に乾燥させてから、
再度Pinlock® Original Insert Lensを取り付けてください。

●Pinlock® Original Insert Lensは、定期的に取り外してメンテナンスを行ってください。Pinlock® Original Insert Lensを長期間取り付けたままにすると、シリコンシールがシールドに固着する場合があります。

●Pinlock® Original Insert Lensをご使用になる場合は、必ず専用のシールド、ピンをご使用ください。また、それ以外のシールドを加工したり、純正部品以外のピンを取り付けたりしないでください。

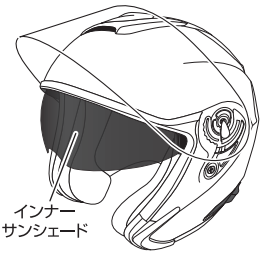
●チンベンチレーションを閉じたままの状態や、ウィンドシャッターなどを使用すると、Pinlock® Original Insert Lensを使用しても曇る場合がありますので、十分にご注意ください。

●曇り止め効果が低下したり、Pinlock® Original Insert Lensに傷などが付いた場合は、そのまま使用せずに新しいPinlock® Original Insert Lensに交換してください

●ライディングポジションによりシリコンシールが視界に入る場合があります。

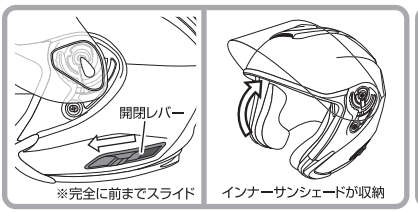
8 インナーサンシェードの開閉方法

このヘルメットには日中の眩しさを抑える「インナーサンシェード」をヘルメット内部に装備しており、ご使用環境に合わせて開閉が可能です。



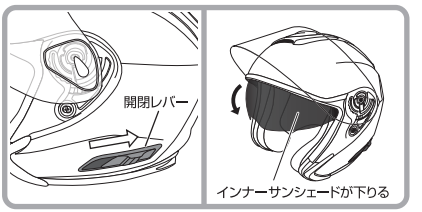
[インナーサンシェードの開閉]

開けるとき



開閉レバーを前へスライドさせるとインナーサンシェードが開き、ヘルメット内部に収納されます。

下ろすとき



開閉レバーを後へスライドさせるとインナーサンシェードを下ろせます。

⚠ 警告: 開閉レバーについて

インナーサンシェードを開ける際は、開閉レバーを前方へ完全にスライドさせてください。開閉レバーが途中で止まった状態のままご使用になると、振動などでインナーバイザーが下りてくるおそれがあります。

❗ ご 注 意

インナーサンシェードを直接持って開閉すると内部パーツが破損するおそれがありますので、必ず開閉レバーで操作してください。

⚠ 警 告

- ●夜間やトンネルなどで走行する場合は必ずインナーサンシェードを開けてください。
- ●突然の降雨やトンネルに入った直後、峠道などで高低差がある場所など、気温変化が生じた場合、急激にインナーサンシェードが曇る場合があります。このような状況が予想されるときはあらかじめインナーサンシェードを開けた状態にしてください。

❗ 開閉レバーが破損した場合

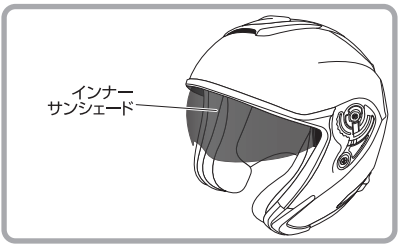
インナーサンシェードの開閉レバーが破損した場合は、メーカー修理となります。（24～25ページ参照）なお修理受付の際、ヘルメットの安全性能が保持出来ないと判断した場合は、修理が出来ない事があります。

9 インナーサンシェードの脱着方法

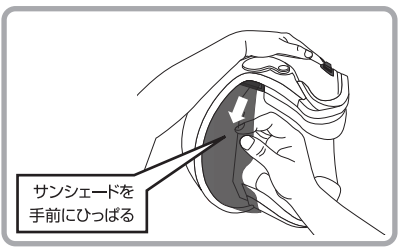
[インナーサンシェードの取り外しかた]

※シールドを完全に取り外した方が
スムーズに脱着できます。

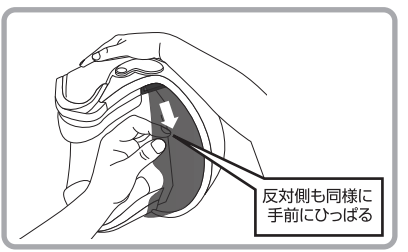
①インナーサンシェードを完全に
閉じた状態にします。



②(ヘルメットをかぶったときの左側から
取り外します。)
インナーサンシェードをしっかりと持ち、
矢印方向へ引き抜きます。



③反対側も同じように引き抜くと完全に
取り外せます。

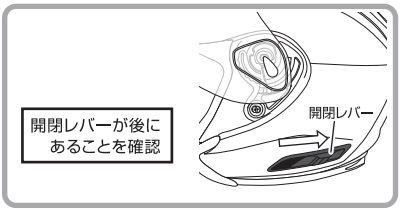


ご注意

インナーサンシェードの脱着は必ず当説明書の手順で行ってください。
無理に引っぱったり違う手順で取り外したりすると、インナーサンシェードや
その他の部品が破損するおそれがあります。

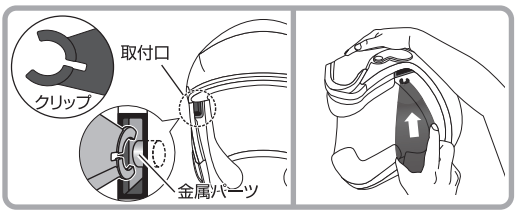
【インナーサンシェードの取り付けかた】

※シールドを完全に取り外した方が
スムーズに脱着できます。

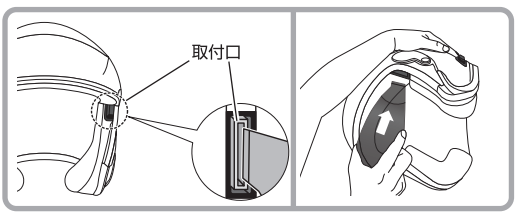


①インナーサンシェードの開閉レバーが後方にある(インナーサンシェードが全閉)状態になっているか確認します。

②ヘルメットをかぶった方向の右側から取り付けます。
インナーサンシェードの端にある「クリップ」をインナーサンシェード取付口から見えている金属パーツ部分に手応えがあるまで差し込みます。

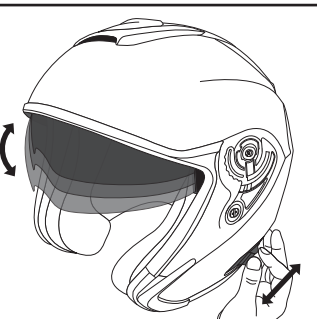


③反対側も同じように「取付口」部分にインナーサンシェードの端を手応えがあるまで差し込んだら取付完了です。



ご注意

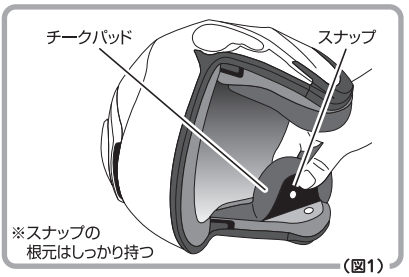
インナーサンシェード取付が完了したら、インナーサンシェードを3〜4回開閉し、正しく開閉動作が出来るか確認を行ってください。
その際、異音がする場合や開閉動作がうまくできない場合などは、当項目を再度よくご覧になり、最初から取り付け直してください。



10 チークパッド（ほほ）の脱着方法

ーチークパッドの取り外しかたー

①まず、チークパッド裏側のスナップ2カ所を外します。（図1）
②チークパッド中央をしっかりつかみ、手前に引きます。（図2）
③この作業を両側とも行うと、完全に取り外せます。



（図1）

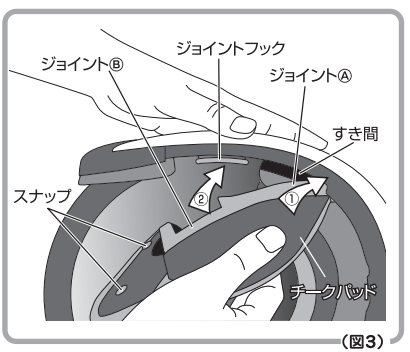
（図2）

ご注意

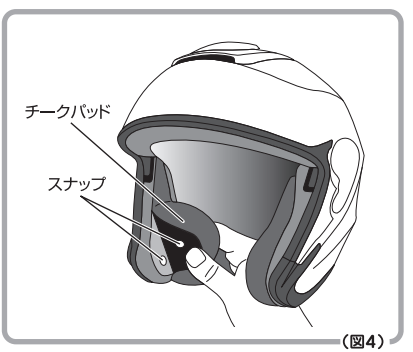
チークパッドのスナップを外す際は、必ずスナップの根元付近を持つようにしてください。
スナップから離れた所を持って引っ張ると、スナップ部分が破損するおそれがあります。

ーチークパッドの取り付けかたー

①リアジョイントⒶをシェルとライナーのすき間に差込みます。
②ジョイントⒷをジョイントフックに差し込みます。（図3）
③スナップ2カ所を止め、取り付け完了です。この作業を反対側も同じように行います。（図4）



（図3）



（図4）

ご注意

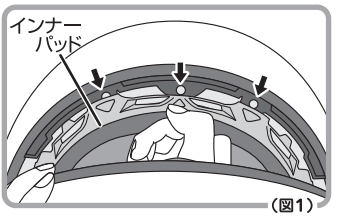
ヘルメットの装着感をより良くするためにも、パッド類の装着は正確に行いましょう。

11 インナーパッドの脱着方法

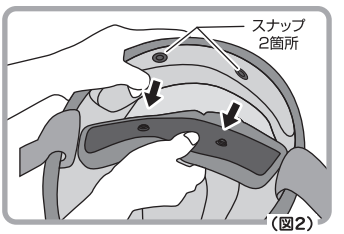
ーインナーパッドの取り外しかたー

①（図1）のように、額付近のスナップを下方向に引っ張り、外します。

②次に後頭部にある、2箇所のスナップを外せば、インナーパッドを全て取り外せます。（図2）



（図1）

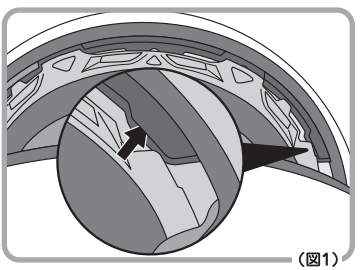


（図2）

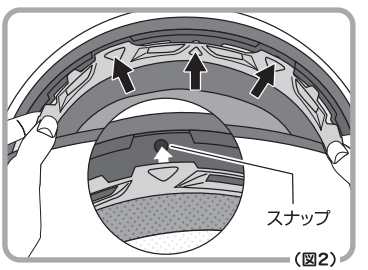
ご注意

インナーパッドを取り外す際、芯材やスナップは、強引に引っ張らず、ゆっくり引き抜いてください。パッドの生地やその他部品が傷むおそれがあります。

ーインナーパッドの取り付けかたー

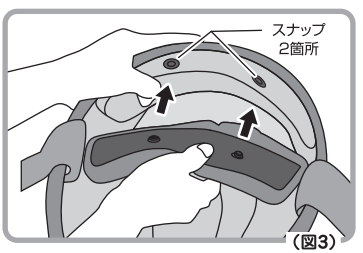

（図1）

①（図1）のようにこめかみ部分の芯材をはじめに差し込みます。



（図2）

②（図2）のように本体にある、3箇所のスナップをそれぞれ押し込みます。



（図3）

③最後に後頭部にある、2箇所のスナップをそれぞれ取り付けて完了です。

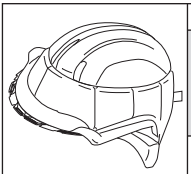
ご注意

- インナーパッドを固定するスナップが確実に取り付けられていないと、走行中にヘルメットがずれる可能性があり、大変危険です。スナップは必ず確実に取り付けてください。
- ヘルメットの装着感をより良くするためにも、パッド類の装着は正確に行ないましょう。

参考 インナーパッド、チークパッドの互換性について

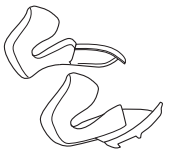
ASAGIシリーズの内装は以下の区分で互換性があり、
チークパッドだけを小さめにする、などといった、細やかなサイズ調整が可能です。

■ ASAGIシリーズ インナーパッド: 各 **¥3,500**(+消費税)



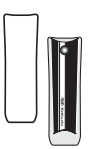
帽体サイズ	パッドサイズ(厚み)	互換性	パッケージ内容
L帽体	XS (22mm)	**XS, S, M, L**の4サイズ内で互換性があります。	インナーパッド×1個入
	S (18mm)		
	M (12mm)		
	L (9mm)		
XL帽体	XL (9mm)	**XL, XXL**の2サイズ内で互換性があります。	インナーパッド×1個入
	XXL (6mm)		

■ ASAGIシリーズ チークパッド: 各 **¥3,000**(+消費税)



帽体サイズ	パッドサイズ(厚み)	互換性	パッケージ内容
L帽体	XS(33mm)	全サイズ内で互換性あり	チークパッド(左右)×1セット
	S (29mm)		
	M (24mm)		
	L (20mm)		
XL帽体	XL (16mm)		
	XXL (12mm)		

■ ASAGIシリーズ あごひもカバー: **¥1,000**(+消費税)



互換性	パッケージ内容
全サイズ共通 全サイズで互換性があります。	あごひもカバー(左右)×1個入

※掲載されている価格は、2014年9月時点の価格です。

※掲載されている価格は、すべて「税抜き価格」となっています。

※最新情報は、弊社ホームページをご確認ください。

重要 内装パッド(インナー・チーク・あごひもカバー)のお洗濯についてのご注意

- ●当製品の内装パッドは、取り外したあとに洗えます。洗う際は一般に市販されている家庭用洗濯洗剤を使用し、手洗いもしくは洗濯機(必ず洗濯ネットに入れる事)で、洗ってください。
- ●洗濯時は、市販の洗濯用洗剤を水もしくはぬるま湯でご使用いただき、熱湯や化学洗剤、有機溶剤などでのクリーニングは、品質の低下や傷みの原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- ●市販の洗濯用洗剤でも、種類によっては多少の色落ちが発生する可能性がありますので、洗濯の際はなるべく個別に分けて洗ってください。
- ●50℃以上となる、乾燥機能付き・ランドリーなどでの洗濯は、パッドの品質低下や傷みの原因となりますので、それらの機器の使用をさけてください。
- ●洗濯後はしっかり水気をきり、なるべく直射日光の当たらない場所で陰干しを行い、十分乾燥したことを確認してからヘルメット本体へ装着してください。
- ●内装パッドは消耗品です。通常の使用でも使用頻度によっては、生地の傷みやインナーフォームの劣化が進みますので、適時交換をお薦めします。

参考 当製品で採用されている機能素材について

当製品は、内装生地に汗を素早く蒸散し、いつもサラッと快適な「クールマックス®」を使用しています。

― 汗を素早く蒸散し、いつもサラッと快適 ―

- 体から発汗すると、「クールマックス®」は水分を外へ排出し、空気が外部から入り込んで、冷却・乾燥させる効果があり、体表温度を下げ、優れた水分調整機能を発揮します。
- 「クールマックス®」は自然な風合いを持ち、ソフトで軽量、通気性にも優れています。

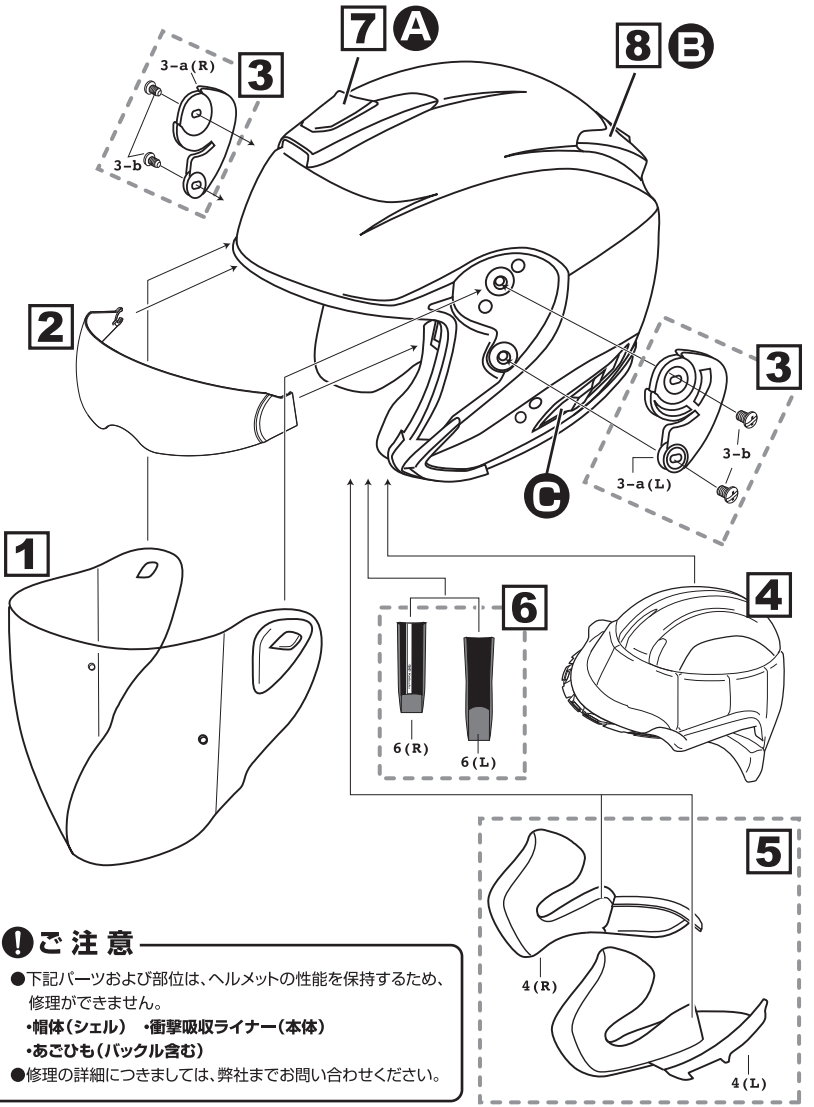
※「COOLMAX®」および「クールマックス®」はインビスタ社の登録商標です。

当製品は、あごひも本体に瞬間消臭素材「MOFF」を使用しています。

当製品のあごひも本体には、ナノテク技術を利用した従来とは全く異なる新しい消臭方法を採用した素材「MOFF」を使用しています。
「MOFF」は瞬間消臭効果・安全性に加え、環境への影響もない次世代の消臭繊維です。

[MOFF素材のお手入れについて]
汗などで汚れた場合のお手入れは、水もしくはぬるま湯（35℃以下）のみで軽くすすいで汚れを落とし、しっかり水気を拭き取ってから、陰干しするとMOFF本来の効果が持続できます。なお洗浄剤を使用する場合は、中性の洗たく用洗剤を使用してください。
（アルカリ性洗剤はMOFFの効果が減少しますので使用しないでください）

●ASAGIシリーズ 補修パーツリストと修理対応表



ご注意

●下記パーツおよび部位は、ヘルメットの性能を保持するため、修理ができません。

・帽体（シェル）　・衝撃吸収ライナー（本体）

・あごひも（バックル含む）

●修理の詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。

ASAGIシリーズ 補修パーツ／価格表

	パーツ名称	パッケージ内容	価格(+消費税)
1	SAJ-L-Pシールド	1: SAJ-L-Pシールド(標準:クリア)	¥4,200
2	CF-1インナーサンシェード	2: CF-1インナーサンシェード(標準:スモーク)	¥2,000
3	SAJシールドラチェットセット	3-a: SAJシールドラチェット(左右)×1	¥1,200
		3-b: 6×6ビス×4個	
	6×6 ビスセット	3-b: 6×6ビス×4個	¥200
4	ASAGIインナーパッド	4: ※P22参照(XS, S, M, L, XL, XXL)インナーパッド×1個	¥3,500
5	ASAGIチークパッドセット	5: ※P22参照(XS, S, M, L, XL, XXL)チークパッド(左右)×1個	¥3,000
6	ASAGIあごひもカバーセット	6: ※P22参照(全サイズ共通)あごひもカバー(左右)×1セット	¥1,000
7	ASAGI ヘッドベンチレーション	7: ASAGI ヘッドベンチレーション(各色)×1個	¥1,500
8	ASAGI リアベンチレーション	8: ASAGI リアベンチレーション(各色)×1個	¥2,000
別売	SAJ-P Pinlock® Original Insert Lens	別売: SAJ-P Pinlock® Original Insert Lens	¥3,000

※上記パーツは、Kabutoヘルメット取扱店にてお買い求めください。
※パーツにカラーが設定されているものについては、お買い上げの販売店へご注文の際に、カラーをお伝えください。
※製品の性能をさらに向上させるために、材質や仕様、価格等を予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
※パーツの詳細は、Kabutoホームページでもご覧になれます。 Kabuto 検索

ASAGIシリーズ・修理対応パーツ／価格表

※当社製造不良等の原因以外による破損等につきましては、下記の通り有償修理となりますので、予めご了承ください。

	パーツ名称・修理内容	カラー／部位	価格(+消費税)	備　考
Ⓐ	ヘッドベンチレーション	各色	¥1,500	パーツのみ販売可能
Ⓑ	リアベンチレーション	各色	¥2,000	パーツのみ販売可能
Ⓒ	インナーサンシェード・開閉レバー	全色共通	¥1,500	ASAGI専用パーツ 修理対応のみ

※掲載されている価格は、2014年9月時点の価格です。　※掲載されている価格は、すべて「税抜き価格」となっています。

商品に関するお問い合わせと修理のご依頼方法:

修理のご依頼方法

■修理のご依頼は、お買い上げの販売店もしくは、弊社までお問い合わせください。
■修理ご依頼品をお送りいただく前に、必ず下記までご連絡、もしくはお問い合わせください。
　事前にご連絡をいただけない場合、スムーズな修理対応ができない場合がございます。
※修理品到着後、弊社にて「ヘルメット本体の安全性能を確保しかねる」と判断した場合は、修理をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

修理できないパーツ

■下記パーツおよび部位は、ヘルメットの性能を保持するため、修理できません。
　○帽体(シェル)　　○衝撃吸収ライナー(本体)　　○あごひも(バックル含む)
※その他、修理の詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。

商品に関するお問い合わせ・修理のご依頼についてのご連絡先:
株式会社 オージーケーカブト **TEL: 06-6747-8031**
〒577-0016 大阪府東大阪市長田西6丁目3-4

Kabuto

Safety Meets Style

株式会社 オージーケーカブト
〒577-0016 大阪府東大阪市長田西6丁目3-4　TEL:06-6747-8031
ホームページ: Kabuto 検索

2014-OCT-FSJ-QDK2